



鹿児島県

母子会だより



この広報誌は赤い羽根
共同募金の助成を受け
て発行しています。

令和6年6月15日(土)
母子部リーダー
研修会



令和6年6月15日(土)
市町村支部会長会



令和6年7月27日(土)
母と子の日帰り
交歓研修会

サマーナイト花火大会
桜島をバックに約1万5千発
の花火が夜空を彩ります。

109号

発行所 社会福祉法人 鹿児島県母子寡婦福祉連合会(鹿児島県社会福祉センター内)
鹿児島市鴨池新町1番7号 電話099-258-2984 FAX099-296-8123
URL <http://www.kaboren.jp/> E-mail kken-bosikai@orion.ocn.ne.jp
発行人 久保 郁子

令和6年8月31日発行

ごあいさつ

鹿児島県母子寡婦福祉連合会
理事長 久保 郁子



年々、夏の暑さが厳しく、猛暑が続いておりますが、会員の皆様には、お元気で過ごすごしのことと思います。

今年、年明けの一月一日に能登半島大地震が発生し、犠牲になられた方々に深く哀悼の意を表すとともに、被災された多くの皆さま方に対しお見舞いを申し上げます。また、一日も早く復旧・復興がなされますことを、心よりお祈り申し上げます。

さて、昨年五月に新型コロナウイルスが五類へと移行され、当会の事業活動も通常に戻り、昨年は創立七十周年を無事迎えることができました。私も理事長として九年目になります。急速に進む「高齢化」や「後継者不足」「会員の減少」などの大きな課題

に直面しており、年々支部の減少がみられるなど心を痛めております。また世界情勢の不安定による物価高騰など、ひとり親家庭や寡婦の生活においても大きな影響を受けております。そこで、当連合会ではひとり親家庭・寡婦の方の悩み不安を一緒に考え、役に立つ情報や施策をお知らせし解決策を探すお手伝いをしています。今こそ人と人のつながりを大事にし、孤立・孤独になる会員がでないように支えあい、母子と寡婦ともに協力していきたいと思えます。

最後になりますが、会員の皆さまには、これからも健康に留意しながら当連合会の事業にご協力を賜りますようお願い申し上げます。また、各関係団体の皆さまには日頃のご理解、ご支援に心から感謝申し上げます。今後ともご指導いただきますようお願い申し上げます。



鹿児島県保健福祉部子ども政策局
子ども福祉課長 水溜 義仁



社会福祉法人鹿児島県母子寡婦福祉連合会の皆様におかれましては、本県の母子父子寡婦福祉向上のため、日頃から、それぞれの地域において、ひとり親家庭等の生活の安定と自立にご尽力いただいております。心から感謝を申し上げます。

我が国では、出生数の減少が予想を上回る速度で進行し人口減少に歯止めがかからない中、子どもや家庭を巡る様々な課題が深刻化しております。本県においても、少子化は、人手不足の深刻化や地域の活力の低下を招くことから依然として大きな課題となっております。

少子化の背景には、未婚化・晩婚化、妊娠・出産期や子育て期の孤立感や負担感、子育てに係る費用負担、仕事と子育ての両立の難しさ等の様々な課題があります。このため、本県では、少子

化を克服していくため、各ライフステージにおける支援を大幅に拡充した総合的な対策である「かごしま子ども・子育て支援パッケージ」として、令和六年度当初予算で取りまとめたところです。

ひとり親世帯等の方々へは、これまでも、生活の安定を促進するため、児童扶養手当の支給や母子寡婦福祉資金の貸付けなどの経済的な支援のほか、就職に有利な資格が取得できる養成機関への入学準備金の貸付けなどを行なう就業支援を行っており、さらに、貴連合会に御協力を賜わりながら、修学や疾病等の事由により一時的に生活援助や保育サービスが必要な場合に家庭生活支援員を派遣する生活支援、養育費の確保等について弁護士等による無料の法律相談を行なう養育費確保支援も実施しているところで

す。今後とも、誰もが安心して暮らしていける鹿児島県を目指すため、貴連合会と連携を図りながら、ひとり親家庭等への多様な支援を進めてまいります。皆様により一層の御支援・御協力をお願い申し上げます。

ます。終わりに、社会福祉法人鹿児島県母子寡婦福祉連合会のみならずの御発展と皆様の御健康・御活躍を心から祈念いたします。

新理事になりました

肝付地区 大迫 郁子



この度、新理事に任命されました。肝付地区会長を二年前よりしています。

私が母子寡婦会に入会する事となったきっかけは、離婚して移動届を吾平町の役場に出しに行った時、窓口の係の方が「母子家庭ですので、近くの民生委員に顔出しをしてください」と言われたのが理由です。出かけていくと母子会の会長でした。すぐに母子会の説明をされ入会を勧められました。それが、ひとり息子が一歳の時でした。それから三十五年、移転するたびに母子寡婦会に入会、入来町、鹿児島市、鹿屋市と会員を続

けてまいりました。鹿児島市では、開設したばかりの就業支援の方の紹介で就職もできました。また、鹿屋市に帰り、母子会員だったので母子父子自立支援員の仕事に就き、期間満了の十年間かかわることができました。母子家庭の方々と触れ合いは多く、色々な出会いと別れがありました。仕事を離れても、連絡して来てくれる方もいらっしやいます。

また、肝付地区の会長を引き受けたのも、二市五町の会員が高齢化して脱退、今では一市二町となり、四〇〇名の会員が一四〇名に減り、車の移動が近場しかできない為、動ける方をお願いしたいと言われたのが理由でした。

母子寡婦会では、ひとり親家庭等就業・自立支援事業を利用して、ヘルパー二級を習得、子育て支援員講習も受講しました。このような事業を多くの母子家庭の方々に知っていただき、利用してほしいと思います。
よろしく申し上げます。

鹿児島支部 山下 千穂子



今回理事を引き受けることになりました。

コロナの影響や、今年の夏の猛暑、物価高騰など行事を行うことが大変だと思えます。会員の皆さまとの楽しい行事が少しでもスムーズに実施できるようお手伝いできればと思っています。

パリオリンピックでは、日本人選手が本当に頑張っており、感動をいただきました。選手の努力には程遠いですが、母子会の明るい未来のためには何かを考え、実行していけたらと思います。
おばちゃんパワーはすごいと言わせますよ。皆様のご協力をお願いします。



令和6年度 市町村・支部会長会及び第1回母子部リーダー研修会

日時 令和6年6月15日（土）
会場 県社会福祉センター7階 会議室
内容 県下37支部の会長と母子部長が一堂に集まり、午前中は合同研修、午後からは会長と母子部に分かれ研修を行いました。

合同研修 県母連の組織及び活動と、令和6年度事業説明。

1. 母子家庭等就業・自立支援センター事業について
2. ひとり親家庭等日常生活支援事業について
3. 補助事業及び委託事業の経費配分について
4. ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業について
5. ひとり親家庭支援奨学金制度について
6. 令和6年度中国・四国・九州地区母子寡婦福祉研修大会について
7. 母子家庭に対する食糧支援事業について
8. その他（自動販売機設置促進等）



会長研修

参加者 各支部の会長37名

- 令和5年度事業報告
- 県内母子寡婦会の会員等の推移
- 各地区実施の研修大会について
- 第71回鹿児島県母子寡婦福祉研修大会について
- 第51回鹿児島県母子・寡婦・父子家庭大運動会について

母子部リーダー研修

参加者 各支部の母子部長11名

- 令和5年度全国母子部長研修会の報告
- 令和6年度母と子の日帰り交歓会について
- 令和6年度就業支援講習会について
- 母子父子寡婦福祉資金貸付金について
- 不登校支援ガイド（鹿児島県教育委員会）
- 離婚後の共同親権について
- 日本プロ野球選手会ドリームキャッチプロジェクト
- 第2回市町村支部母子部リーダー研修会について

日程 令和7年2月1日（土）



り交歓研修会

仙巖園



仙巖園（薩摩焼絵付け体験）

仙巖園は、一六五八年島津家十九代光久によって築かれた薩摩藩主高津家の別邸です。目前の桜島を築山に、錦江湾を池に見立てた壮大な庭園は、数ある大名庭園の中でも他に類を見ないスケールの大きさです。美しい景色、歴史や文化を今に伝える仙巖園の中で、薩摩の伝統文化を体験してきました。四百年の歴史を有する薩摩焼、本格薩摩焼のお皿に、思い思いのオリジナルな上絵付けを楽しみました。

黎明館（動き出す浮世絵展 KAGOSHIMA）

葛飾北斎、歌川国芳、歌川広重など、世界的な浮世絵師の作品三百点以上をもとに、3DCGアニメーションやプロジェクトマップング

参加者の感想

北野

初参加させていただきました。鹿児島市内とのことでしたが、絵付け体験に興味があり参加希望しました。浮世絵展はとても素晴らしく、独特の世界観があり、静と動また音楽との中でゲームコーナーがあり、子どもたちが仲よく遊んでいるのを見て交流ができてよかったです。離島からの参加だったので、台風心配もありましたが、お天気も良く無事に過ごせたこと、子どもとの遠出がなかったのが参加してよかったです。ありがとうございました。

たてみちせら

つかれたけど楽しかった。絵を書くのになやみだけ、なんとか書けました。浮世絵展では、とてもキレイなのを見ました。

たてみちまほろ

楽しかった。絵が書けなかったけど、絵の具を使って楽しかった。さかな釣りゲームがおもしろかった。

松野下秀華

仙巖園は、TVではよく見ますが行ったことがなく、お庭もキレイで建物もすごくステキでした。そして絵付け体験でもスタッフの方が丁寧に教えてくださり、気遣って

母華

した。ゆっくりとじっくりと見られて嬉しかったです。観覧車も子供たちがとても喜んでいました。一日たくさん遊べて楽しい思い出ができました。ありがとうございました。

薩摩焼絵付け体験を聞いた時に、だいたいイメージできて簡単そうだと思っていました。でも、想像とは違っていました。けっこうむずかしく、あまりうまく書けませんでしたが、でも自分が書いたというだけで特別な感じがしてとっても嬉しかったです。動き出す浮世絵展では、たくさん感動しました。私ほもと社会の歴史が好きでは

黎明館



母と子の日帰

期日：令和6年7月27日（土）参加者：24人

会場：仙巖園（薩摩焼絵付け体験）→黎明館（動き出す浮世絵展）

を駆使して大人から子供まで楽しめるグラフィカルなデジタルアート作品として描き、立体映像空間で浮世絵の世界に没入できる体感型デジタルアートミュージアムです。
大迫力と、美しい色使い、幻想的な浮世絵に引き込まれそうでした。また江戸時代に刷られた著名な浮世絵師や復刻版の浮世絵の展示もあり、浮世絵の歴史や、江戸の文化、浮世絵師たちについて、触れることができました。

鹿児島中央駅（アミュラン）

建物の上であり、直径60m最大高九十一mの大観覧車。観覧車からは、鹿児島島のシンボルである桜島が正面に望め、鹿児島市内を一望できました。日ごとに変わりゆく活動的な鹿児島市の街地を堪能できました。



い
く
かんらんしゃにのれてうれしかったです。

まり
絵付け体験では、何を書いていいかとても悩みましたが、できあがりを楽しみです。浮世絵展も素敵でした。今年も楽しい思い出ができました。ありがとうございました。

たてみちはる

楽しかった思い出ができました。ぼくはお皿にきょうりゅうの絵を書きました。浮世絵展では、わなげをしたりさかなつりをしました。



くれてすごくいい所でした。実際の絵付けは思ったよりも難しかったです。筆で書くのと思うようにかけなかったりしましたが、ウエットティッシュで何度もやり直しながら楽しく集中できました。一人一人の個性が出て皆さんいい作品を作っていたので、他の方の作品を見るのはとても楽しかったです。

黎明館での浮世絵展も素晴らしいかったです。有名な絵や、学校・社会で習った様な絵が浮き出したり動いたり不思議でしたが、とてもきれいで感動しました。昔の絵を生き返らせるような感覚と、昔の人が知ったらきっと驚くだろうなと思いついて見ている



ありません。しかし、動き出す浮世絵展にはとても美しく目をうばわれるようなものばかりでした。そのため、社会の歴史が好きでない私も大はしゃぎでした。最後の観覧車は、家族で話したりのお楽しみだったり、高い所から下を見ることがあまりないので、楽しかったです。

暖心花

おさらに絵を書いて楽しかったけど、むずかしかったです。浮世絵展は、いろんな絵が動いておもしろかったです。観覧車では、友だちとのお話、いい思い出もつくれています。ごく楽しかったです。

**令和5年度
ひとり親家庭等就業・
自立支援事業**

講習会の開催

医療事務講習会 大島地区

天城町

講習期間

令和五年十一月二十五日(土)
～令和六年二月十一日(日)

会場

天城町役場・天城町防災センター

受講者数

六名

講習会を終えた感想

T・Kさん

この度、寡婦会の会長さんより「医療事務の研修受けてみない？」と声をかけられ、この講習を知ることができました。当時は受けてみるだけやってみようかと、かなり気楽な気持ちでした。いざ研修が始まると先生がわざわざ土・日、鹿児島から私達の為にご指導してくださり、学べる有難さと久しぶりの緊張感を味わいました。講習が進むにつれ難しく、特に「レセプト点検」が大変でした。先生の指導の下で受講している時は最後まですんなり解く事ができましたが、一人で解く際

は教材を見ながらでも困難でした。さすがにその時は落ち込みました。ただ、講習期間を終了してみれば、久しぶりの学生時代に戻ったかのように集中して勉強することができました。そして約四か月間、宮崎先生をはじめたくさんの方々に支えられ、無事終了することができました。これからも、このような貴重なきっかけがあれば、結果はともかく第一歩を始めて挑戦してみようと思います。



M・Yさん
医療事務講習のお話をいただき、ぜひ勉強してみたいと思ひ、申し込みをさせていだきました。子供の習い事や行事などと重なってしまい、数回しか参加できませんでしたが、学生気分に戻り楽しく受講することができました。ほとんどどの授業を受けられず、不安な気持ちで試験を受けました。一度目は不合格でしたが、二度目で合格することができました。通知が届いたときは、子どもと一緒にドキドキしながら封を開け、合格の文字を見た瞬間一緒に飛び跳ねて喜びました。とても嬉しかったです。応援してくれた子どもたち、家族、そして最後まで応援、サポートしてくださった先生に感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。



M・Tさん
人生百年時代と言われてます近年です。私自身五十五歳を機に、どのような歳の取り方？重ね方？生き方？を歩んでいくのかな？なんて、老後の人生について考え始めていました。歳を重ねても、「働いていたい」という思いだけは明確にありました。その頃、この医療事務講座を会長さんの新田和枝さんから声をかけて頂きました。

受講には不安がありました。が、チャレンジ！脳トレだ！と決め受講させて頂きました。講座では、一緒に受講する方たちとお話しすることができ、また、ニチイ学館の宮崎真理子先生にはとてもわかりやすく丁寧に教えて頂きました。宮崎先生の現役で講師をされている姿勢にも勇気をもらいました。現在、私は団体職員として働き定年を待つ身ですが、これからの人生、この医療事務の資格を心の勇気のお守りにして、働いていきたいと思ひます。でも一番は、健康が大切ですよ。心身健康をモットーに元気で笑顔で居られる自分でありたいと思ひます。

医療事務講座を受講させて頂き、ほんとに感謝しております。ありがとうございました。

みんなの作品展

始良支部の会員の娘さん「しばいぬ」さんより、鹿児島県画作品展で入選した作品を投稿していただきました。

まるで写真を見ているような素晴らしい作品です。



題：静かな神社



題：夕日に照らされて



母子会ネット

母子家庭への食糧支援を！

最近、スーパーに買い物にいくと、その食料品の高騰ぶりに驚くばかりである。社会情勢の変動による物価高とは認識しているが、目の前の米や野菜類の値段を見ると買うのをためらいそうである。こんな折、二つの組織から支援を受けることができるようになった。日々の生活を考えると、「雀の涙」ほどの支援かもしれないが、気持ちとしては少し軽やかになる。

一つは、末日聖徒イエス・キリスト教会からの食料品支援である。米や缶詰など1万円以上の支援である。(1回限り、9月以降)

もう一つは、こども家庭庁からの支援である。これは、事業団体が申請をし、審査に合格すれば支援を受けられるものである。鹿児島県母連も申請したところ、審査に合格し、子どものいる母子会員に支援をできることになった。毎月1回、各市町村支部で代表者に米を購入してもらい、領収書を本会に送って支援を受けるしくみである。8月より1月までの支援である。

酷暑の夏であるが、何とか少しでも前向きに生活する姿で乗り切りたいものである。

令和6年4月から 児童扶養手当が拡充されています

事業の概要

支給対象者 18歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある児童（障害児の場合は20歳未満）を監護する母等

支給要件 父母が婚姻を解消した児童、父または母が死亡した児童、父または母が一定程度の障害の状態にある児童、父または母の生死が明らかでない児童等を監護していること等

手当額 令和6年4月より手当額が引き上げられ、さらに11月より第3子以降の加算額が拡充されます。

	令和6年3月分まで		令和6年4月分から		令和6年11月分から	
	全部支給	一部支給	全部支給	一部支給	全部支給	一部支給
児童1人の場合	44,140円	44,130～10,410円	45,500円	45,490～10,740円	同左	
児童2人目の加算額	10,420円	10,410～5,210円	10,750円	10,740～5,380円	同左	
児童3人目以降の加算額(1人につき)	6,250円	6,240～3,130円	6,450円	6,440～3,230円	10,750円	10,740～5,380円

所得制限限度額 (収入ベース前年の所得に基づき算定) ※令和6年11月分から 全部支給(2人世帯):160万円→**190万円**
一部支給(2人世帯):365万円→**385万円**

支給期月 1月・3月・5月・7月・9月・11月

こども家庭庁のひとり親家庭の暮らし応援サイト

ひとり親家庭は、子育てと生計の維持を一人で担っていることから、様々な困難を伴う場合があります。このようなひとり親家庭や寡婦が自立に向け取り組むための支援として、「子育て・生活支援策」「就業支援策」「養育費の確保策」「経済的支援策」の4本柱により施策を推進しています。

そこで、こども家庭庁は、ひとり親家庭の、働く・暮らす・育てるを支え、シングルマザー・シングルファザーと子どもたちの笑顔につながる情報を届ける、くらし応援サイト「**あなたの支え**」を開設しております。このウェブサイトでは、シングルマザー・シングルファザーと子どもたちの、暮らしに役立つさまざまな支援の情報を、掲載しています。どんな支援があるの？自分の住む地域で受けられる支援は？どこに相談すればよいの？そんな疑問を感じたら、検索ページや支援一覧ページをチェックしてみてください。お住まいの自治体に相談に行けば、必要な支援につながることができます。



県母連ではこんな事業をしています

受付：月曜日から金曜日 午前8時30分～午後4時
☎：代表 (099) 258-2984 直通 (099) 206-3280

◆ひとり親家庭等日常生活支援事業◆

一時的に家事や育児でお困りの際にご利用できます。必要な援助や保育を家庭生活支援員がお手伝いします。

- 疾病・事故・冠婚葬祭
- 残業や出張、学校行事の参加 等
- 就職活動 など

《支援内容》

食事の世話・住居の掃除・身の回りの世話
・乳幼児保育・医療機関との連絡 等

◆ひとり親家庭等就業・自立支援事業◆

就職や転職など、自立のための支援を行っています。

◎就業支援 無料職業紹介所

- 就業相談（職業紹介）
- 情報提供 • 求人開拓 など

◎講習会の開催

- 医療事務講習 • 簿記講習
- パソコン講習 • 子育て支援員講習 など

◆相談事業◆

ひとり親家庭・寡婦の方の悩みや不安を一緒に考え、役に立つ情報や施策をお知らせし、解決策を探すお手伝いをします。

◎一般相談

生活や子育ての悩み 等

来所・電話・FAX・メールにて受け付けています。

巡回相談も行っています。

ひとり親で悩んでいませんか？



◎弁護士による法律相談 無料

養育費や面会交流の相談 等

事務局にて面談もしくはお電話で。

毎月1回 第3木曜日 午後2時～午後4時
(要予約)

◆貸付事業◆

◎ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付

高等職業訓練促進給付金を活用して養成機関に在学し、就職に有利な資格の取得を目指すひとり親家庭の親に対し、入学準備金及び就職準備金を貸し付ける制度です。

※看護師・介護福祉士・保育士・理学療法士・作業療法士・調理師・美容師 等

※資格取得後5年間県内従事で返済免除

◎住宅支援資金貸付

「母子・父子自立支援プログラム」を受け、自立に向けて意欲的に取り組むひとり親家庭の親に対し、家賃の支払いを支援する「ひとり親家庭住宅支援資金」の貸付を実施しています。

70周年記念誌を作成しました。

鹿児島県母子寡婦福祉連合会は昨年創立70周年を迎え、令和6年3月に記念誌「輪」を作成しました。歴代の理事長や、創立70周年記念大会行事等、また、各支部の紹介、70年の軌跡など写真とともに掲載しております。詳細につきましては事務局までお問い合わせください。



会員さん 大募集中!!

お問い合わせは県母連へ

099-258-2984

今後の行事のお知らせ

期 日	内 容
2024年 9月 3日	第71回鹿児島県母子寡婦福祉研修大会
9月21日	中国・四国・九州地区母子寡婦福祉研修大会（広島県）
10月13日	第51回 母子寡婦父子家庭大運動会
10月27日	全国母子寡婦福祉研修大会（富山県）
11月22日	第2回理事会
2025年 2月 1日	第2回母子部リーダー研修会（予定）
3月 6日	第3回理事会
3月22日	第2回評議員会